



高等学校(インターンシップ)

インターンシップとは

インターンシップとは、**高校生や大学生が一定期間、企業や事業所等(以下「企業(事業所)」と略す)**において、**実際に仕事を体験すること**です。国(文部科学省、厚生労働省、経済産業省)は、「**学生が在学中に自らの専攻、将来のキャリアに関連した就業体験を行うこと**」と定義し、その具体的な内容は、1日の事業所見学から数週間の事業所研修体験、長期間の労働実践など、様々なものがあります。

インターンシップが求められる背景

高校生のインターンシップは、平成11年の旧文部省の教育改革プログラム「**教育立国をめざして**」に端を発し、各都道府県において取り組みが進められています。そして、平成15年には、「**若者自立・挑戦プラン**」(「**若者自立・挑戦戦略会議**」)において、**国をあげたキャリア教育の取り組みが始まりました**。文部科学省においても、平成16年から「**新キャリア教育推進事業**」を推進しています。

インターンシップの現状

平成10年度から「インターンシップ」の実施率は急激に上昇しましたが、平成17年度の**全国での実施率は3割程度**にとどまっています。大阪府においては、府立高校では82の高校、約2,700名の生徒が体験し、大阪市立高校でも全23校中、15校で実施されています。ただ、公立校に比べ、私立高校では実施校が少ないのが現状です。

特に、専門(職業)学科では、実施率が高く、実施日数も長く、生徒が過半数参加する形態がとられ、全校的な取り組みとして展開されています。

また、平成16年より、文部科学省などが主体となり、「**日本版デュアルシステム**」が**全国で導入**されています。これは、企業における職業訓練と、高等学校での教育を並行的に実施するのが特徴で、大阪をはじめ関西各地でも実施されています。

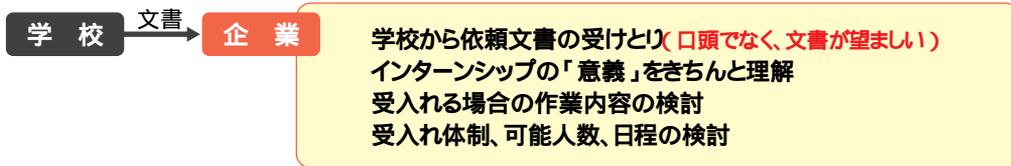
インターンシップとアルバイトの違い

アルバイトとは、決められた労働を提供する代わりにお金を得ることが目的のものです。インターンシップは、**将来のキャリアを築く上で役に立つ就業体験をすることが目的**です。事業所にとっても、高等学校教育への援助、協力の一環として実施するものなので、賃金を払う必要はありません。

実施の流れ

通例、高等学校からインターンシップ受入れの打診があります。

受入れが可能な場合、正式に学校から(一般的には文書にて)インターンシップ受入れの依頼があります。(教育委員会、地域の経済団体等から企業に依頼する場合があります)

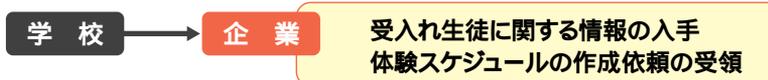


企業から、学校に受入れ承諾の連絡と日程の調整をします。
受入れ承諾の際は、「受入れ承諾書(巻末に参考例)」の発行を依頼される場合があります。また、一般的には学校から担当教師が受入れ企業を訪問します。

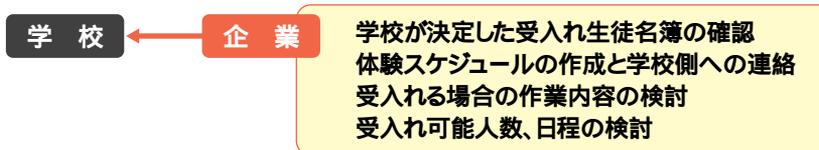


受入れ体制を作る(P.6参照)

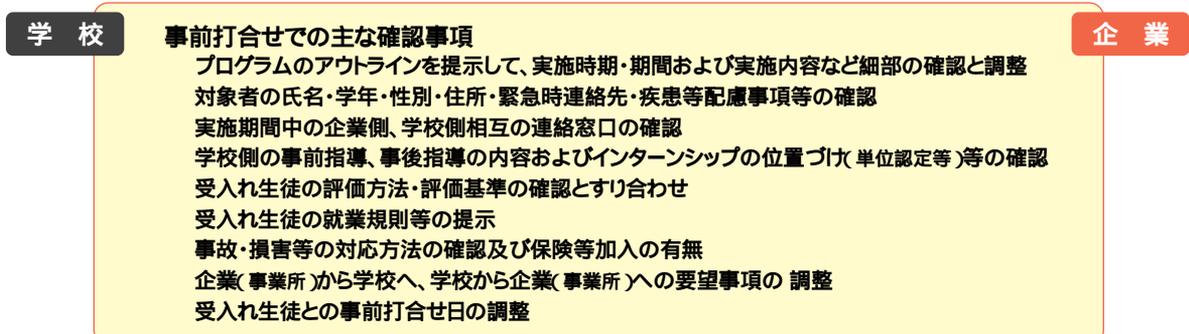
学校から、詳細な情報が送られてきます。



学校からの情報の確認と依頼事項の回答を行って下さい。



事前打合せを実施し、学校と企業との間できちんと意識合わせをして下さい。
打合せは受入れ事業所で行うのが一般的です。



学校は受入れ生徒に対し、事前指導を実施します。特に安全面や社会性・マナーを重点的に行います。また、インターンシップに関する注意事項についても伝達します。(受入れ側からも事前指導の徹底を学校側に依頼して下さい)

学 校	服装、態度、マナー、話し方指導 言葉遣い、挨拶 インターンシップに関する注意事項 安全指導
-----	--

企業も受入れ前準備を行い、万全の体制を整える必要があります。

受入れ生徒が入っていけない場所、守秘義務の高い場所の設定 コンピューター等の重要機器の管理 社内受入れ体制の確定と社内での周知 セクハラ等リスク指導	企 業
---	-----

〈生徒の事前訪問〉

受入れ生徒が事前に企業を訪問します。
初めての接点の場ですので、生徒の意識が高まるような激励など行って下さい。
なお、中学校の「職場体験」と違って、詳細についてまでお互いで確認して下さい。

生 徒	打合せ項目 双方の自己紹介、配属部署の責任者等との顔合わせ 入社時刻及び退社時刻を含むスケジュール確認 昼食(自己負担、弁当・社員食堂の有無など) 服装(作業着、履物、頭髪等) 仕事(作業)の内容、就業場所(配置部署)、更衣室等 就業規則等の仕事上のルール 緊急時の連絡方法と対処方法、避難経路等 事前に学習しておくべきことの指示 その他、事業所等で必要と考える事項	企 業
-----	--	-----

インターンシップ 受入れ

インターンシップ終了後、学校から事後報告会への参加、アンケート記入、受入れ生徒に対する評価等の依頼があります。

今後、双方にとって効果的な職場体験学習を実施していくためにもこれらの依頼への協力をお願いします。

また、学校・生徒から感想文や礼状が送られてくる場合もあります。
ぜひ社内で回覧するなど、会社全体で情報を共有して下さい。

実施の際の留意点

▶ オリエンテーションの実施

インターンシップ初日に必ずオリエンテーションを実施して下さい。受入れ生徒にとっても「これから研修が始まる」と自覚させる意味でも必要です。

《主な実施事項》

企業(事業所)代表者からの挨拶(会社概要や経営方針の説明)
各担当者の紹介
企業(事業所)の業務内容
インターンシップの意義、目的
期間中のスケジュール、作業内容及び要点の確認
諸注意及び安全対策の確認
企業(事業所)内の案内、配属部署への紹介 等

▶ 入社時・退社時の対応

入社時・退社時にミーティングを行って下さい。それぞれ、以下の項目について、確認・実施する必要があります。

出 社 時

その日の作業内容の確認
手順等の確認(安全上重要)
受入れ生徒の健康面の確認
目標や心構えの確認

退 社 時

整理整頓と清掃
翌日の業務内容の確認と準備
一日の反省会
日誌の記入

▶ 最終日

最終日には必ず反省会を実施して下さい。受入れ生徒が、期間中で得たことや反省点を振り返ることは重要です。また、各担当者等からのアドバイスや激励の言葉などもインターンシップの効果を高めます。

インターンシップで留意するポイント

スケジュール作成の留意点

- ▶ **受入れの目的を、関係する従業員全員がしっかり把握して下さい。**
従業員全員が「一つの心」でないと、実施内容が不明確なものになる可能性があります。そのため、その内容と意義を事前に従業員に把握させて下さい。
- ▶ **受入れ生徒の能力・体力を考えて、作業内容を決めて下さい。**
企業(事業所)の業種や職種に応じて、どのような作業をさせるのかを検討する際は、受入れ生徒に対して、どの程度の作業をさせることが可能かを把握しておく必要があります。そのため、事前に先生(場合によっては受入れ生徒)と打合せをしておくのが良いです。
- ▶ **受入れ生徒に関する情報を、事前に確認して下さい。**
インターンシップを効果的に実施にするため、事前に学校側から生徒に関する情報を確認したり、生徒から将来の進路や希望を聞いたりして、作業内容を定める時の参考にするもお勧めします。特に生徒の専門領域の履修状況を聞いておけば、作業内容を定めるときの参考になります。
- ▶ **「働く」ことの意義や楽しさを教えて下さい。**
例えば、製造業などでは、製造工程の一部を作業実習として取り入れ、その過程で、ものづくりの喜びや、そこから得る充実感などを体感することも、生徒にとっては大切です。
- ▶ **危険な作業の体験は絶対に避けて下さい。**
あくまでも、就業体験なので、補助作業等危険を伴わない体験学習にして下さい。

生徒に接する際の留意点

受入れ側の4つのポイント

間違った場合には、きちんとした指導を行って下さい

社会的マナーや礼儀の大切さを話して下さい

職業や働くことの大切さを話して下さい

受入れた生徒を絶対に「お客さん」あつかいしないで下さい

上記のポイント以外にも、気をつけなければいけない項目として、

- ▶ **偏った先入観を持たない**
受入れ生徒に対しては、「偏った先入観」を持たないようにして下さい。彼らの中には、初対面や、年長者に対する人見知りが高い生徒も少なくありません。このことを理解しながら、大人としての寛容な心と社会人としての厳しい態度の双方向から、しっかりと指導する必要があります。
- ▶ **高校生はまだ『大人社会』との関わりが希薄であることを理解する**
現実の仕事に就いたとき、どのように対応すればよいか戸惑ったりインターンシップ中、挨拶や言葉遣いを身に付けていなかったり、持ち場を離れたりすることがあります。これらは、決して人間としての本質の問題ではありません。彼らはまだ未熟なだけなのです。本当の彼らの姿は「素直」で「まじめ」なことを理解して下さい。
- ▶ **受入れ生徒は「緊張」していることを理解する**
新しい環境に入っていく場合は、大人でも緊張するものです。思いやりのある一言が大事になります。ちょっとしたことで気分がほぐれると彼ら本来の明るさが戻ります。

このような点を理解し、**大人としての寛容な心と社会人としての厳しい目の両方から彼らにしっかりと指導することも重要です。**

具体的事例

高校生のインターンシップの具体的実施例として、以下の案件が挙げられます。なお、日数は、地域・受入れ場所等によって様々ですが、一般的なインターンシップでは5日間の実施が多いようです。

時刻		福祉施設	機械部品製造業	ホテル
1日目	AM	オリエンテーション (施設見学、仕事説明)	オリエンテーション (会社説明、工場内見学)	オリエンテーション 仕事ガイダンス、ホテル見学、 ベッドメイキング、フロント業務
	PM	食事の手伝い、利用者への 挨拶、お茶配り、リハビリ施設 への誘導 1日の振り返り(反省会等)	安全教育、旋盤作業の見学 1日の振り返り(反省会等)	風呂・トイレ・洗面所清掃、 掃除がけ 1日の振り返り(反省会等)
2日目	AM	本日の仕事の確認 おむつ交換補助、 お茶・おしぼり配り、利用者 とのコミュニケーション	安全確認 旋盤作業の見学、 エアドライバー使用方法説明	本日の仕事の確認 ベッドメイキング、 風呂・トイレ・洗面所清掃
	PM	お風呂への誘導、配膳の 手伝い 1日の振り返り(反省会等)	鉄パイプの加工、 旋盤による内径加工 1日の振り返り(反省会等)	風呂・トイレ・洗面所清掃、 掃除がけ 1日の振り返り(反省会等)
3日目	AM	本日の仕事の確認 レクリエーションの手伝い、 お茶・おしぼり配り	安全確認 製造機械部品等ダンボール 詰め	本日の仕事の確認 ホテル内見学、 ベッドメイキング
	PM	配膳の手伝い、 理髪室への誘導 1日の振り返り(反省会等)	部品にねじを入れる作業、 製造機械部品ダンボール詰め 1日の振り返り(反省会等)	風呂・トイレ洗面所清掃、 掃除機がけ 1日の振り返り(反省会等)
4日目	AM	本日の仕事の確認 リハビリの手伝い、 ベッドメイキング	安全確認 外形と面取り加工、 テーパと面取り加工	本日の仕事の確認 ベッドメイキング、 フロント業務
	PM	お茶・おしぼり配り、 レクリエーションの手伝い 1日の振り返り(反省会等)	テーパと面取り加工、 ねじと部品を組む作業 1日の振り返り(反省会等)	宴会場準備 1日の振り返り(反省会等)
5日目	AM	本日の仕事の確認 食事介助、食事がたづけ、 リハビリの手伝い	安全確認 部品等の組立作業	本日の仕事の確認 宴会場準備
	PM	懇談会 就業体験報告書まとめ 5日間の振り返り	懇談会 就業体験報告書まとめ 5日間の振り返り	懇談会 就業体験報告書まとめ 5日間の振り返り